

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

- ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足

②1～4号機タンク貯蔵量

- ・淡水化装置による処理により、RO処理水(淡水)及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり
- ・蒸発濃縮装置は全台停止中

③5、6号機滞留水貯蔵量

- ・構内散水によりFエリアタンク貯蔵量は変動あり

④廃棄物発生量

- ・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約5,970m ³	TP.443 (OP.1,900)
2号機	約12,850m ³	TP.886 (OP.2,338)
3号機	約12,950m ³	TP.794 (OP.2,231)
4号機	約13,650m ³	TP.860 (OP.2,299)
合計	約45,420m ³	

(合計): -1520[m³/4週] (合計): -170[m³/週]

貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約6,220m ³	TP.38 (OP.1,400)
高温焼却炉建屋	約3,470m ³	TP.624 (OP.2,070)
合計	約9,690m ³	

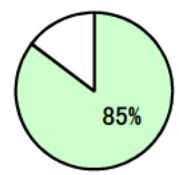
(合計): -520[m³/4週] (合計): +2060[m³/週]

	貯蔵量	貯蔵容量
廃液供給タンク	643m ³	1,200m ³
SPT(B)	773m ³	3,100m ³

(合計): -120[m³/4週] (合計): -1179[m³/週]

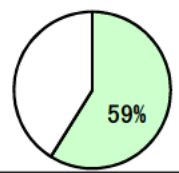
④廃棄物発生量

廃スラッジ



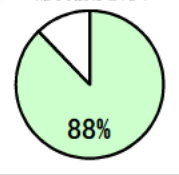
保管量: 597/700[m³]※3

使用済ベッセル



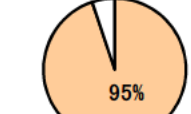
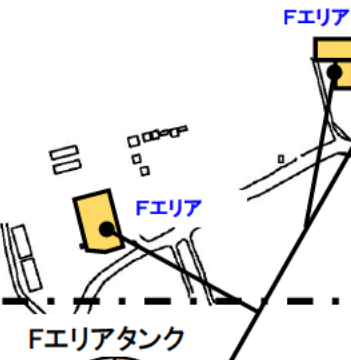
保管量: 3748/6368体 ※1

濃縮廃液



保管量: 約9398/10700[m³] ※3
水位計0%以上の保管量: 9298[m³]
タンク底部～水位計0%の保管量(DS): 約100[m³]

- ②-a RO処理水(淡水)
- ②-b 濃縮塩水(残水)
- ②-c 処理水(多核種除去設備等処理水)
- ②-d Sr処理水等
- タンク解体・建設中エリア
- 水処理二次廃棄物(既設)
- 水処理二次廃棄物(追設予定)
- 循環注水ルート(実線: 主に使用するルート)
- ろ過水注水ルート



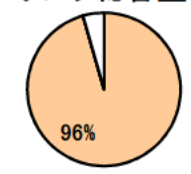
水量: 15464/16300[m³] ※2,3

+81[m³/4週]/±0[m³/4週]

+34[m³/週]/±0[m³/週]

③5、6号機タンク貯蔵量

タンク総容量



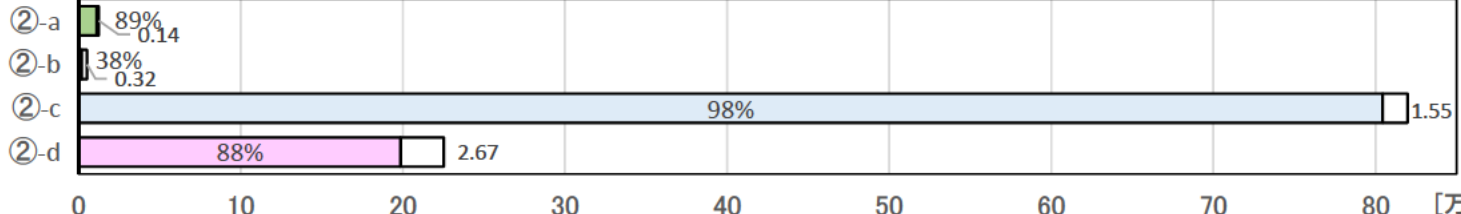
水量: 約1031825/1079400[m³] ※2,3

+9237[m³/4週]/+12400[m³/4週]

+438[m³/週]/±0[m³/週]

タンク貯蔵量合計(②+③)

- ※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む
- ※2 装置移動中につき水位が安定しないため参考扱い
- ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記)
- ※4 多核種除去設備等(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵
- ※5 ウェルポイント・地下水ドレン(約170m³/週)、建屋へのその他移送量(約80m³/週)の合計約250m³/週を含む(端数処理上、各移送量の総和と異なる場合がある)
- ※6 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む



水量: 約11202/12600[m³] ※2,3

水位計0%以上の水量: 10302[m³]

タンク底部～水位計0%の水量(DS): 約900[m³]

-824[m³/4週]/-6300[m³/4週]

-644[m³/週]/±0[m³/週]

②-a RO処理水(淡水)

水量: 約2000/5200[m³] ※2,3

水位計0%以上の水量: 約1600[m³]

タンク底部～水位計0%の水量(DS): 約400[m³]

±0[m³/4週]/±0[m³/4週]

±0[m³/週]/±0[m³/週]

②-b 濃縮塩水(残水)

水量: 約804447/819900[m³] ※2,3,4,6

水位計0%以上の水量: 802947[m³]

タンク底部～水位計0%の水量(DS): 約1500[m³]

+15171[m³/4週]/+18700[m³/4週]

+3781[m³/週]/±0[m³/週]

②-c 処理水

(多核種除去設備等処理済水)

水量: 約198712/225400[m³] ※2,3

水位計0%以上の水量: 194412[m³]

タンク底部～水位計0%の水量(DS): 約4300[m³]

-5191[m³/4週]/±0[m³/4週]

-2733[m³/週]/±0[m³/週]

②-d Sr処理水等

水量: 約1016361/1063100[m³] ※3,4

水位計0%以上の水量: 1009261[m³]

タンク底部～水位計0%の水量(DS): 約7100[m³]

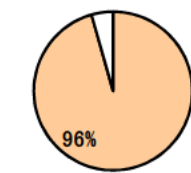
+9156[m³/4週]/+12400[m³/4週]

+404[m³/週]/±0[m³/週]

タンク堰内水の一時的貯留量(*8月28日時点の値を記載)

・ノッチタンク群 約100(±0[m³])/約600[m³]

1～4号機タンク総容量



水量: 約1072887[m³]

+5855[m³/4週] ※5

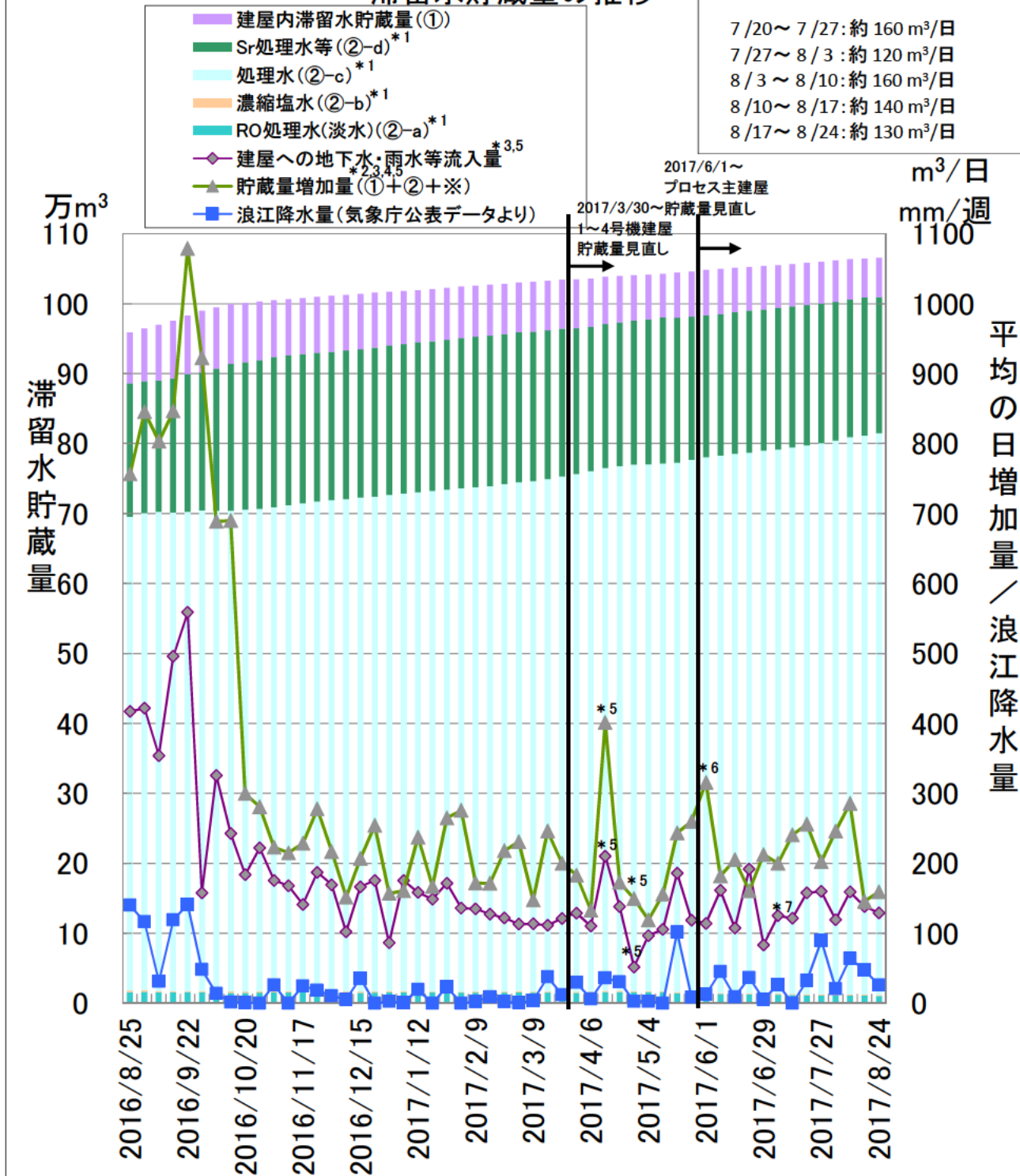
+1115[m³/週]

建屋内貯蔵量

+ 1～4号機タンク貯蔵量

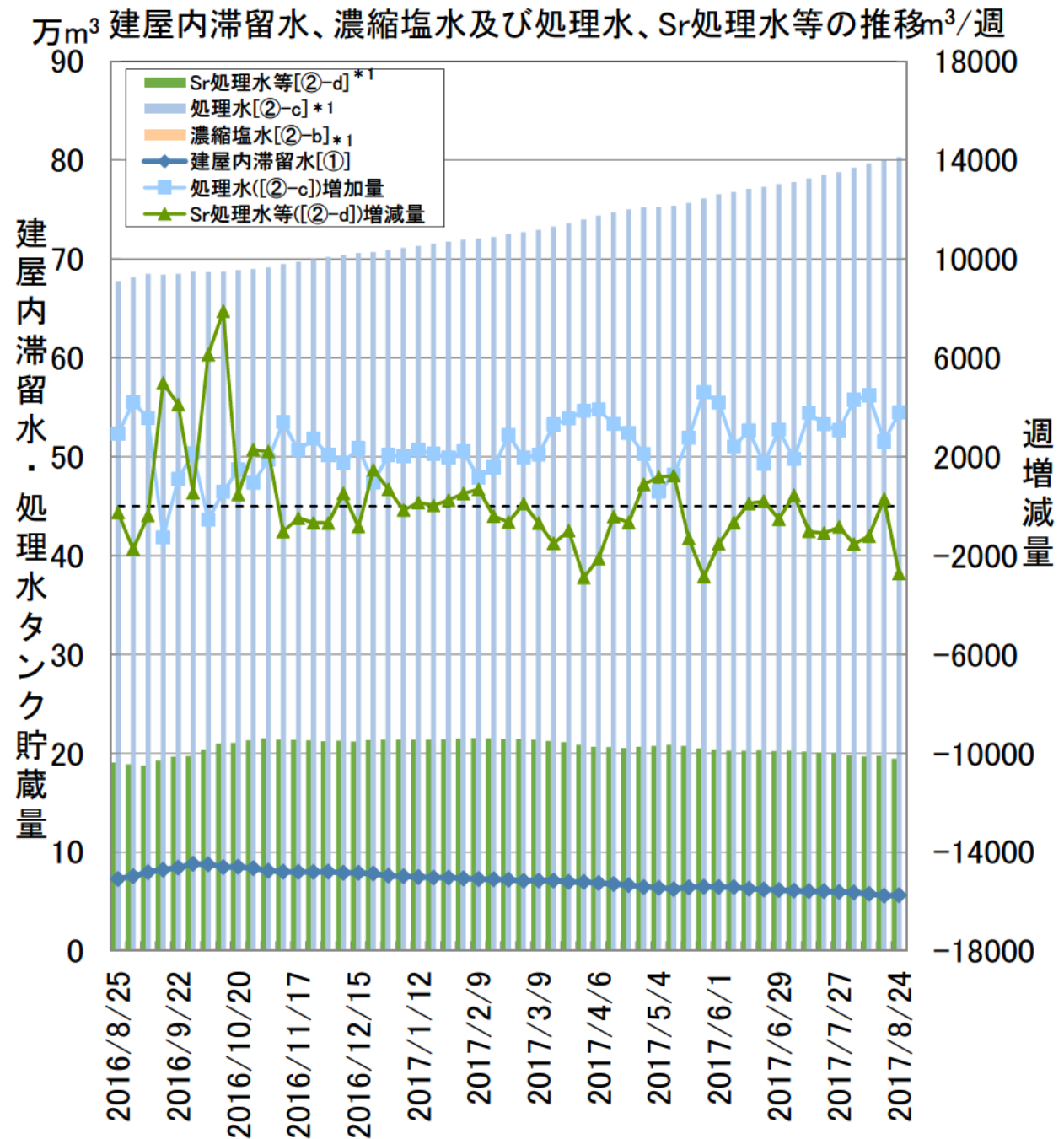
(①+②)

滞留水貯蔵量の推移



※:タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

* 7: 2017/7/5に実施した調査結果から、1号機T/B未調査エリアの水量が想定水量よりも少ないことが判明したため補正



処理水	累積処理水	期間処理水		定格処理量
	[m3]	[m3/週]	[m3/日] ^{注1)}	[m3/日]
既設多核種除去設備 ^{注2)}	366,061	968	138	750以上
増設多核種除去設備 ^{注2)}	366,372	2,813	402	750以上
高性能多核種除去設備	102,556	0	0	500以上
高性能 検証試験装置	1,128	0	0	50
Sr処理水等	期間処理水			定格処理量
	[m3/週]	[m3/日] ^{注1)}		[m3/日]
セシウム吸着装置	1,020	146		600
第二セシウム吸着装置				1200

注2) 既設・増設多核種除去設備処理水の一部は、残水があるRO濃縮塩水タンクに移送し、Sr処理水等として貯留